

学習指導要領に対応した情報教育の在り方と大学入学共通テストへの対応

I 団体の概要

1. 目的・趣旨

平成15年度からの高等学校の必修教科「情報」の開始をふまえ、東京都内の高等学校等での情報教育を向上すること、東京都内の高等学校における情報教育を研究・推進する目的で設置された。

高等学校に限らず、東京都内のさまざまな学校で情報教育にかかわる方々とともに研究活動を展開することも視野に入れて活動している。また、教員に限らず、大学や専門学校等で情報教育を志す学生の方々にも参加していただいている。

主な活動としては、教科「情報」に関する研究、各教科等での情報活用の研究、学校教育の情報化に関する研究などがある。

2. 今年度の活動

大学入学共通テストにおいて「情報Ⅰ」が実施される今年度は、各学校における授業実践や、大学受験指導への対応などを共有することで、従来の情報科の指導内容に加え、大学受験指導にも対応できるような資質の向上を図ることを目標とした。

さらに、今後各学校で選択科目として設置されることが予想される、発展的な内容を扱う科目の「情報Ⅱ」や、専門教科の科目についての理解を深めることで、情報社会の進展を見据えたカリキュラムに対応するための知見を深める活動を行った。

II 研究協議会

日時：令和6年6月1日

場所：東京都立立川高等学校（オンライン併用）

「情報科の知識体系と情報入試」というテーマで電気通信大学の教員の方に講演をしていただいた。

情報科の指導内容がどのような知識体系をもとに構成されており、それが大学入試の問題にどのように反映されるのかということを中心にした話があった。

学習指導要領にある情報科の目標を踏まえつつ、生徒が大学入試に対応できる学力を身に付けるには、どのような授業の工夫が必要かを考える機会となった。

日時：令和6年9月9日

場所：茨城県立IT未来高等学校

令和5年4月に茨城県に新設された、専門学科の情報科を設置する高校を訪問し、授業見学と学校の様子についての説明を受けた。

「情報システムのプログラミング」や「コンテンツの制作と発信」などの専門教科の科目を見学させていただき、共通教科の「情報Ⅰ」や「情報Ⅱ」の内容を掘り下げて学んでいくことで、高校生でも高度なスキルを身に付けられることを知ることができた。

授業見学の説明では、授業で使用する施設や教材について、専門学科での授業の進め方などについて情報を提供していただいた。

Ⅲ 授業ツアー

日時：令和6年10月18日

場所：早稲田実業学校高等部

本研究会では、普段の授業を見学する「授業ツアー」を実施している。この回では、高等部3学年の文系必修科目として行われている「情報Ⅱ」の授業を見学した。

授業後の協議では、文系の必修科目として「情報Ⅱ」を設置した経緯と指導上の工夫、教材の選定などについて話を伺い、文理を問わない教養としての情報科のあり方について意見を交換した。

日時：令和6年11月22日

場所：東京都立国立高等学校

本会では東京都教育委員会生成AI研究指定校を中心に、生成AI活用検討委員会を設置し、AI活用に関する研究を行っている。

この授業では、生成AIを使ってPythonのコード生成を行い、グループで身の回りの問題を解決する実習を行った。

授業後には、生成AI活用の可能性と課題について参加者の意見交換が行われた。

Ⅳ 都高情研チャンネル

オンライン会議システムを利用して気軽に参加できる研究協議や情報交換の場を提供している。この回は、DXハイスクール先進校の視察報告が行われた。

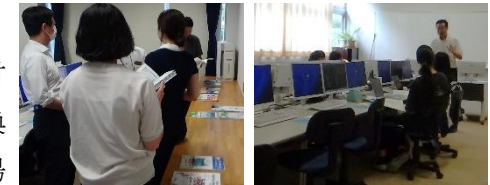


Ⅴ 教科「情報」情報交換会

日時：令和6年8月22日

場所：東京都立昭和高等学校

各学校で活用している副教材と、その活用について情報交換を行い、活用の一例として会場の夏期講習を見学した。



Ⅵ 成果と課題

大学入学共通テストでの「情報Ⅰ」実施が間近になり、各学校の情報科教員が対応に追われる中、資質の向上に向けた本会の取り組みがその助けとなっている

今後は、「情報Ⅱ」や専門科目の指導、生成AIの活用についての知見を深めることで、情報社会の進展に対応した授業展開について検討していくことが課題となる。

＜令和6年度連絡先＞

団体名		東京都高等学校情報教育研究会	
代表者	所属	東京都立久留米西高等学校	
	職氏名	校長 福原 利信	
	連絡先	042-474-2661	
事務局	所属	東京都立小平高等学校	
	職氏名	指導教諭 小松 一智	
	連絡先	042-341-5410	
団体ホームページ	URL	https://www.tokojoken.jp/	二次元コード